



高静小学校総合学習 2/24

高静小学校の4年生が、総合的な学習の時間を使い、馬、漁業、二十間道路など9つのテーマを研究し、成果をまとめた壁新聞を作成しました。各テーマを2班で研究し、6班ずつ3回に分けて成果を発表。馬について研究したグループでは、頭数と人口との比較や町内生産の活躍馬などを発表。「馬で有名な町なんだと再確認できた」、「馬について調べたら、知らないことがたくさんあってびっくりした」と話していました。



白寿祝状授与 3/1

片山久枝さんが2月21日に白寿を迎え、入所先のグループホームひまわりで酒井町長から祝状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。片山さんは、岩手県出身で室蘭で出会った金吾さんと結婚し、戦後は新冠町に開拓で入植。農業を営む夫を支えながら、5女の子どもと7人の孫、9人のひ孫に恵まれました。入所先では、自分で食事し、歩くこともできるなど元気に過ごしているそうです。



ペテカリ分校交通安全運動 2/22

静内ペテカリの園分校 中学部生徒6名による『交通安全啓発活動』が役場静内庁舎で行われ、生徒が心を込めて作成したメモスタンド等を来庁者に配付し、交通安全を呼びかけました。



防犯標語コンクール 2/19

町防犯協会（片岡徳雄会長）は、犯罪や非行のない安全で安心なまちづくりのため、防犯意識につながる標語を公募する『防犯標語コンクール』を開催しました。昨年11月から12月にかけて394点の応募があった中、三石旭町の盛岡文子さんの「犯罪の芽は こどもの頃の 家庭から」が最優秀賞に選ばれ、役場三石庁舎で表彰されました。今回選ばれた作品は、ポスターにして公共施設等に掲示しています。

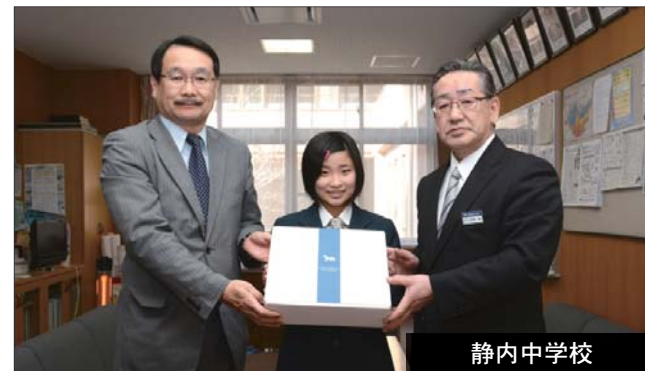
- ◆最優秀賞 (※順不同)
【犯罪の芽は こどもの頃の 家庭から】
盛岡文子さん (三石旭町)
- ◆優秀賞
【カメラより 確かな監視 地域の目】
大谷海さん (三石中学校3年)
【気をつけて ネット社会に 潜む罠】
前田梨沙さん (三石中学校3年)
【気をつけよう あの手この手の サギ電話】
乾より子さん (三石旭町)
【御用心 あの手この手の 特殊サギ】
藤江久代さん (三石旭町)
【防犯は 一人ひとりの 自覚から】
盛岡光志さん (三石旭町)

- ◆佳作
【犯罪を 犯して後悔 もうおそい】 泉紗弥さん (静内第三中学校1年)
【殴っちゃだめ 人生変わるよ ドラッグで】 山本力也さん (三石中学校1年)
【自分だけ 騙されないとは 思わずに】 熊谷綾乃さん (静内末広町)
【車内には 置かない・見せない 貴重品】 千葉延幸さん (静内中野町)
【スマホなど 便利な社会に ひそむワナ】 久米美代子さん (三石旭町)
【防犯の 心のスタート 家庭から】 田辺裕子さん (三石旭町)
【でき心 それでは通らぬ 人の道】 乾より子さん (三石旭町)
【悪いこと しないさせない 組みしない】 藤江久代さん (三石旭町)
【ちょっと待て 本当はいいの その振り込み】 坂下かおりさん (静内花園)
【犯罪を 未然に防ぐ 地域の目】 坂下かおりさん (静内花園)

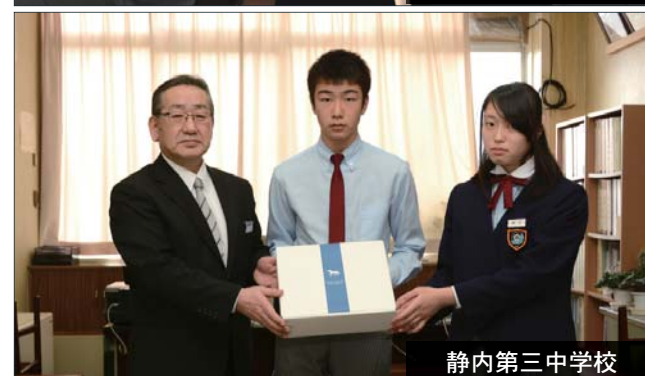


おもしろサイエンスショー 2/20

町教育委員会主催の『カガクで遊ぼう！おもしろサイエンスショー＆どきどきサイエンスワークショップ』が町図書館で開かれ、小学生約60名が参加し、不思議な化学現象を体験しました。



静内中学校



静内第三中学校



三石中学校

滑らない砂寄贈 2/17・18・26

静内エクリプスホテル（岩崎隆社長）は、町内の中学校3校を訪問し、高校受験を控えた中学3年生全員にグループ会社である大井川鐵道が使う『滑らない砂』を合格祈願の品として寄贈しました。静内エクリプスホテルとして営業開始以来、「町民の皆様を支えられているので、少しでも恩返しをしたい」という思いから、この寄贈に至ったそうです。受験生は「残り少ない時間ですが、合格を目指して一生懸命頑張りたい」と感謝の意を述べました。



第5回子ども定例会 2/19

町障がい者自立支援協議会による『第5回子ども定例会』が静内保健福祉センターで行われ、福祉・教育関係者46名が参加し、子育て支援について外部講師による講演が行われました。



ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



三石ロータリークラブ寄附 2/22

三石ロータリークラブ（山田博継会長）が町図書館三石分館にて、図書購入資金として5万円を寄附しました。三石ロータリークラブでは、昭和49年から図書購入資金として寄附を続けており、今回で38回目。今回を含めた寄附金額累計は220万円になります。三石分館では、今回寄附された資金で、高齢者や弱者向けの字の大きな「大活字本」や幼児用の「大型絵本」を購入する予定です。



東静内老人クラブ民謡踊り会 2/17

東静内老人クラブ民謡踊り会（桜井澄子代表）が静内保育所でお誕生日会の催しとして、「佐渡の恋唄」と「静内小唄」の踊りを披露しました。この取り組みは約10年に上ります。

第10回公民館まつり

3月6日(日)に『第10回公民館まつり』が同館で開かれ、町内で活動する約40サークルによる作品展示やステージ発表、体験会などが行われました。

町女性団体連絡協議会の協力で行われる、毎年恒例のジャンボ桜ずし作りには、町民やスタッフなど総勢約200名が参加しました。米60キロ、シイタケ、かんぴょう各2キロ、紅しょうが3キロ、のり500枚の材料を使い、70メートルもの巻きずしが完成。最後には巻きずしを全員で持ち上げ、完成を喜びました。この日は、雨という悪天候でしたが、多くの来場者で賑わいを見せました。



モザイクアート制作の
写真展示もしてました!



ステージ発表



体験コーナー



作品展示



軽食コーナー



写真に納まりきれないんです...



ジャンボ桜ずし作り



レキシントン市友好親善訪問団派遣出発式 3/9

姉妹都市・米国ケンタッキー州レキシントン市を訪問する中学1年生～高校2年生までの11人が、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に出発に向けての抱負を語りました。

レキシントン市への青少年訪問団の派遣は、今回が24回目。団員は24日～4月3日までの日程で、ホームステイをしながら友好を深め、学校訪問や観光施設、競馬場などを見学します。酒井町長は「体調管理に気を付けて、今回の訪問の意義を見つけてほしい。大統領選挙もあるので例年とはまた違う雰囲気味わえるかもしれない。」と激励の言葉を述べました。



静内ライオンズクラブ寄附 3/17

静内ライオンズクラブ(伊藤重廣会長)が役場静内庁舎を訪れ、町奨学資金及び図書購入資金として合わせて20万8,100円を寄附しました。

この活動は、ライオンズクラブの事業の一つである青少年事業の一環で、昭和42年から継続して寄附を行っています。今回の寄附で、両資金合わせて総額1,000万円となりました。

伊藤会長は、「先輩方が続けてきたからこそ、このような結果となった。今後も続けていき、青少年の皆様に役立っていただければ」と思いを述べました。



グラウンドパークゴルフ大会 3/10

冬季間の運動不足解消と会員の交流、親睦を目的とした町老人クラブ連合会主催の『グラウンドパークゴルフ大会』が初めて開かれ、会員56名が参加し、大いに盛り上がりました。



ファイターズ決起集会・激励会 3/3

北海道日本ハムファイターズによる北海道179市町村応援大使『18市町村代表者×応援大使決起集会・激励会』が札幌パークホテルで開かれました。

決起集会では、北海道179応援大使の取組の一つである「限定ユニフォーム市町村名掲出抽選会」が行われ、新ひだか町は5月21、22日開催の東北楽天ゴールデンイーグルス戦と同月24、26日開催の千葉ロッテマリーンズ戦でヘルメットへの町名掲出を酒井町長が引き当てました。



白寿祝状授与 3/5

野表ヒテさんが白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

野表さんは静内西川で山岸永助さんの四女として生まれ、22歳の時に幸一さんと結婚。4男・3女の子ども、19人の孫、18人のひ孫に恵まれました。

現在は、車いすで生活し、他の入所者とテーブルを囲み、3食残さず食べています。日々の楽しみは、競馬番組を観戦することだそうです。



静中サッカー部全道大会3位 3/5-6

『全道フットサル選手権2016 U-14の部』が江別市で行われ、地区予選を勝ち抜いた24チームが全道各地から出場し、静内中学校サッカー部が3位入賞という輝かしい成績を収めました。